

姫路港・東播磨港 港湾脱炭素化推進計画

～ ファースト・ムーバー「播磨」for 瀬戸内・関西 ～

【 説 明 資 料 】



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



1 港湾脱炭素化推進計画策定の目的

- ファースト・ムーバー「播磨」for 瀬戸内・関西を基本コンセプトに、脱炭素化に向けた先進的な取り組みを進め、産業と経済の好循環を生み出す。

背景

脱炭素化ニーズの高まり

- ・ 国際的に脱炭素化の議論が加速する中、我が国でも、2050年カーボンニュートラルを宣言
- ・ 産業分野においても、SDGs重視の動きが進展
- ・ カーボンニュートラルは国際競争力強化に、重要な要素
- ・ 神戸港では、世界に先駆けて日豪間の液化水素運搬や水素発電などを実証

港湾 脱炭素化 推進計画

基本コンセプト: **ファースト・ムーバー「播磨」for 瀬戸内・関西**

地域の面的・効率的な脱炭素化

瀬戸内・関西における水素等の
サプライチェーンの拠点形成

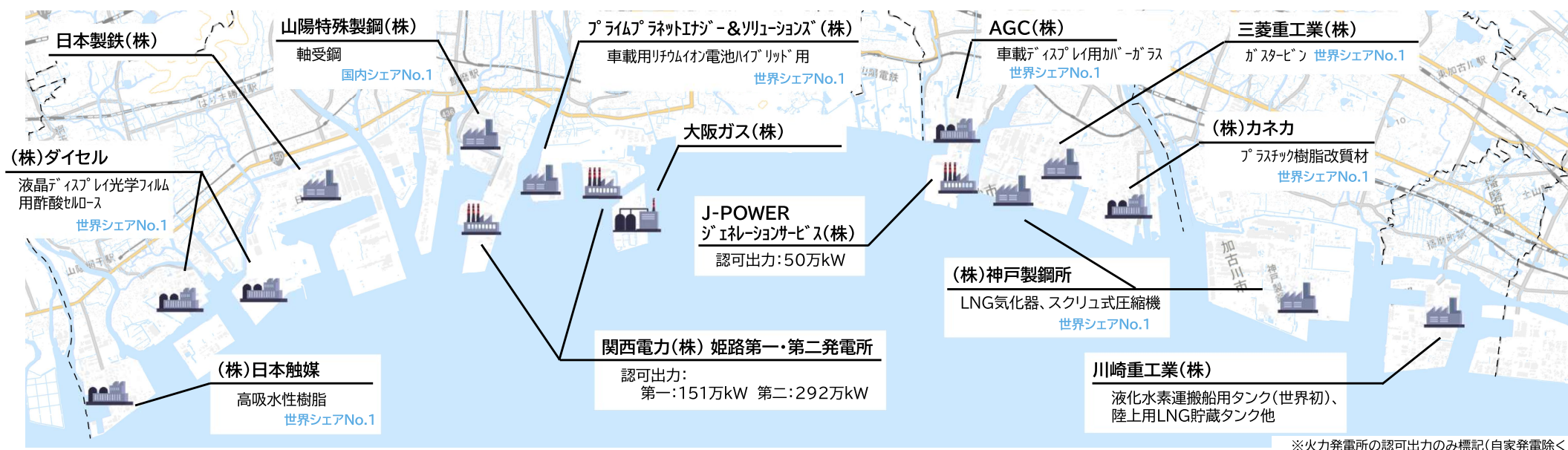
※ファースト・ムーバー・・・最初に行動する人

目指す姿

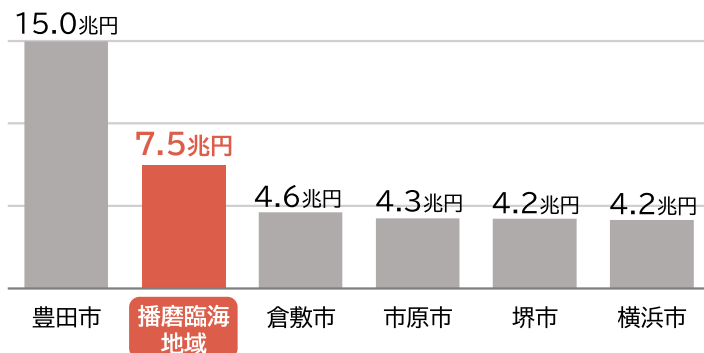
播磨の脱炭素化を契機とした、瀬戸内・関西の産業と経済の好循環

産業・発電等のエネルギー需要が大きい

- 発電・鉄鋼・化学などエネルギー多消費型の産業が集積し、**製造品出荷額 7.5兆円** は **全国第2位**
- 姫路港**LNG発電所の認可出力 443万kW** は **瀬戸内で第1位**（全国第3位）

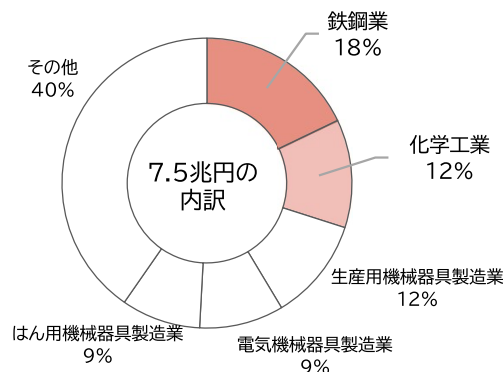


製造品出荷額



出典：経済産業省「工業統計調査」(2022)

播磨臨海地域：明石市、稲美町、加古川市、高砂市、播磨町、姫路市、太子町、神戸市西区



LNG発電所の認可出力

港湾	発電所	認可出力
木更津港	富津	516 万kW
四日市港	川越	480 万kW
姫路港	姫路第一、第二	443 万kW
千葉港	千葉	438 万kW
新潟港	東新潟	416 万kW

出典：電気事業便覧2023

エネルギー供給拠点としてのポテンシャルが高い

- 姫路港のLNG輸入量 **1,289万t** は **全国第5位** で、鉄道による広域的な供給網も形成可能である。
- 瀬戸内・関西の他港湾と海上輸送による連携が容易で、高規格道路網の整備も進められている。
- 近い将来に想定される南海トラフ地震による津波の影響も少ない。



LNG輸入量

港湾	輸入量	全国に占める割合
木更津港	2,297 万t	17 %
千葉港	1,906 万t	14 %
名古屋港	1,423 万t	10 %
川崎港	1,413 万t	10 %
姫路港	1,289 万t	9 %

出典：令和4年 港湾統計調査（国土交通省）

南海トラフ地震による津波浸水想定



出典：国土数値情報（国土地理院）

※最大クラスの津波（L2津波）

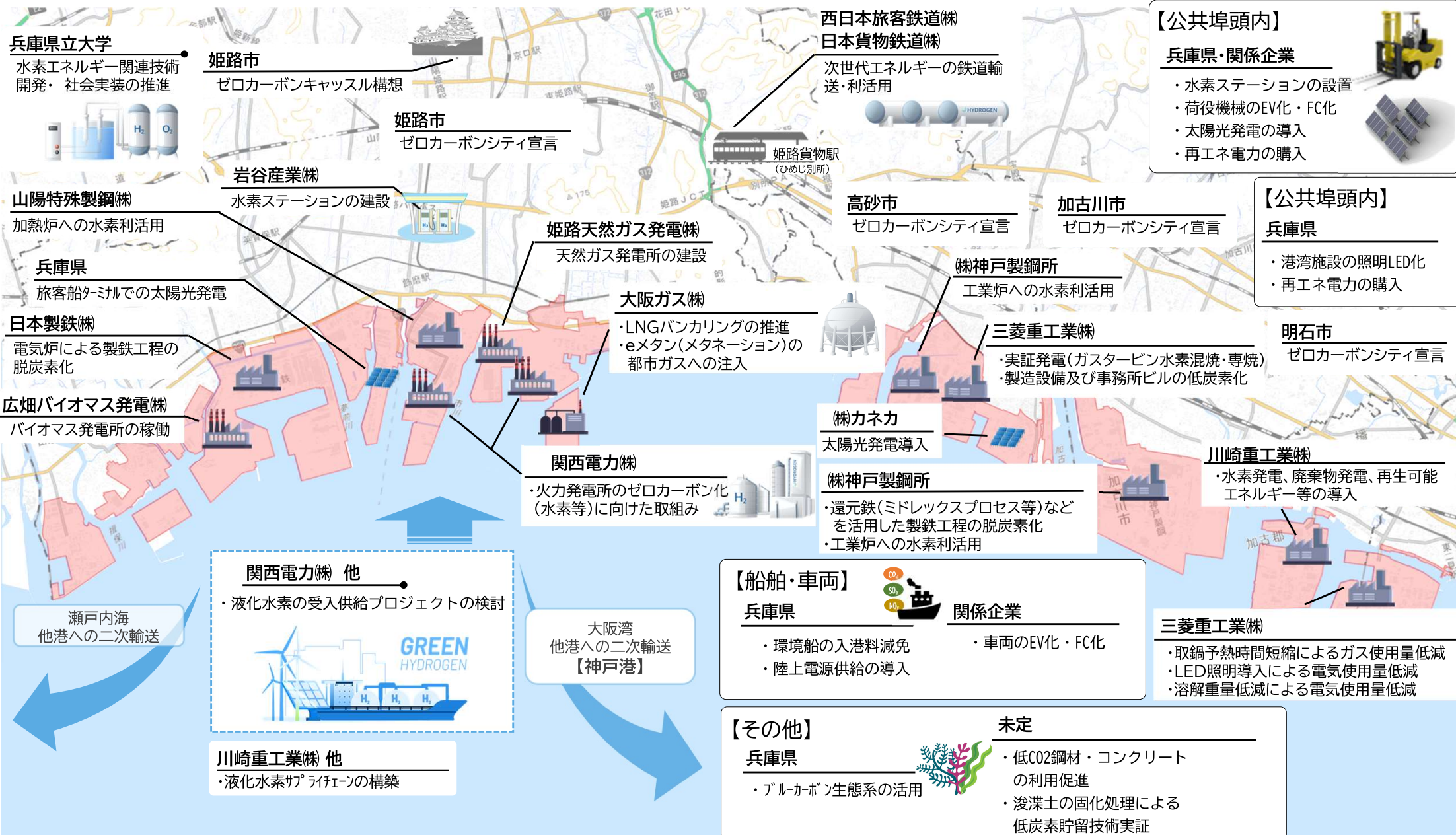
播磨～大阪への高規格道路の整備状況



- 本計画は「播磨臨海地域カーボンニュートラルポート推進協議会」において検討し、港湾管理者である兵庫県が策定する。
- 策定後は、同協議会を適宜開催し、取組の進捗状況を確認・評価するとともに、技術の進展や次世代エネルギーの需給動向を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行う。

播磨臨海地域カーボンニュートラルポート推進協議会

学識 経験者	兵庫県立大学大学院工学研究科教授 新産業創造研究機構理事 ロジスティクス経営士	伊藤 省吾 川村 昌志 上村 多恵子	
企業	岩谷産業(株)	大阪ガス(株)	(株)大林組
	(株)カネカ高砂工業所	川崎重工業(株)	関西電力(株)
	(株)神戸製鋼所	山陽特殊製鋼(株)	(株)ダイセル
	西日本旅客鉄道(株)	日本貨物鉄道(株)	(株)日本触媒
	日本製鉄(株)	プライムプラネットエナジー＆ソリューションズ(株)	丸紅(株)
	三菱重工業(株)	AGC(株)	J-POWERジェネレーションサービス(株)
関係団体	姫路港運協会 東播磨港運協会 ひょうご埠頭株式会社	姫路商工会議所 加古川商工会議所 高砂商工会議所	明石商工会議所 播磨町商工会
行政	国土交通省近畿地方整備局 経済産業省近畿経済産業局 姫路市 加古川市 高砂市 明石市 播磨町 神戸市 兵庫県		
事務局	兵庫県土木部港湾課		



- 播磨臨海地域のCO₂排出量は、2013年度で **3,931万トン**
- 2030年度にCO₂排出量は**2,596万トン**。
- 2050年にCO₂排出量実質ゼロ(**カーボンニュートラル**)を目指す。

CO₂排出量

対象エリアの
CO₂排出量
(火力発電所等は
除く)



2,438万トン

火力発電所等の
CO₂排出量



1,494万トン

2013年度比:39%削減
(政府目標:46%削減)

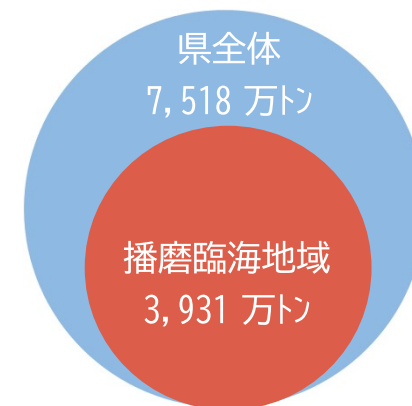
1,488万トン

1,108万トン

**カーボンニュートラル
達成**

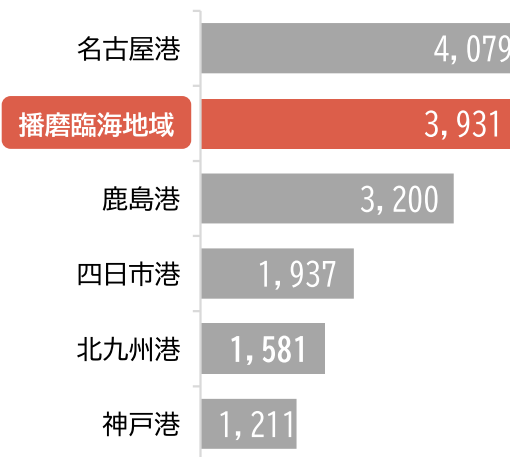
2013年度比 100%削減
(政府目標:100%削減)

0万トン

県全体のCO₂排出量との比較

全国港湾との比較 (2013年度)

(単位:万トン)



※ R6.10時点で計画を公表している港湾

※CO₂排出量について、電気・熱配分前の数字を公表している港湾

参考:瀬戸内・関西地域のポテンシャル

※ 瀬戸内・関西地域における港湾のCO₂排出量の合計値

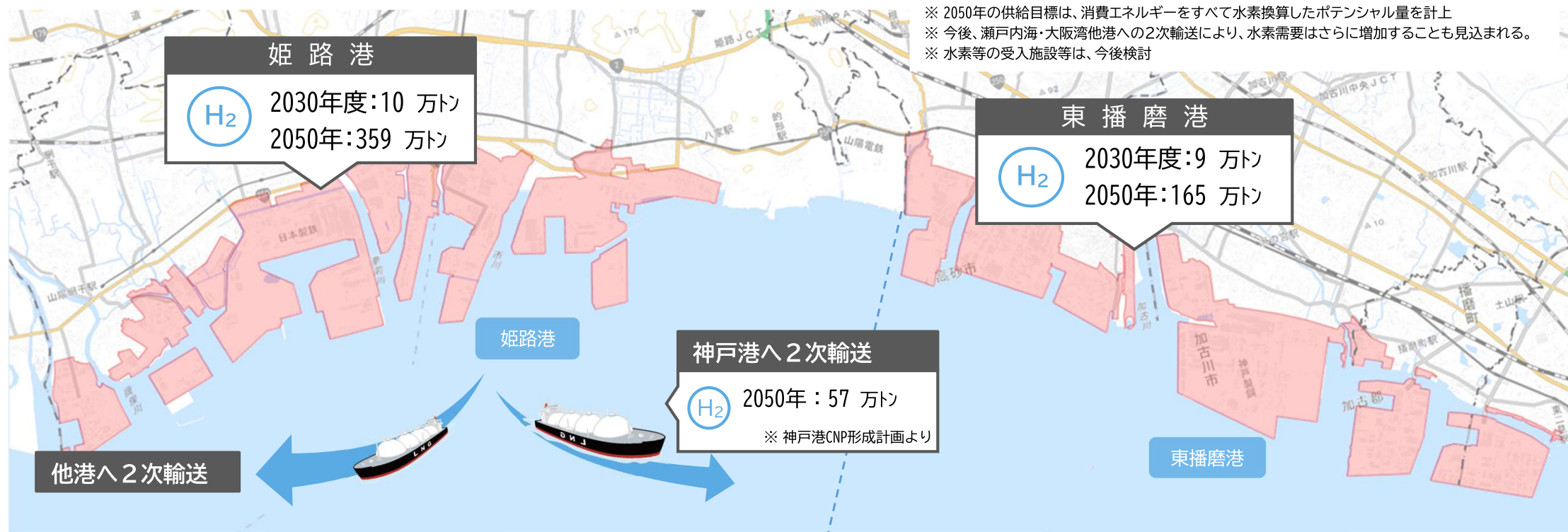
大阪港・堺港・大阪港・神戸港・高松港・坂出港・新居浜港・

東予港(東港地区)・姫路港・東播磨港 -R6.10時点で計画を公表している港-

※CO₂排出量について、電気・熱配分前の数字を公表している港湾※ CO₂排出量(3,931万トン)は電気・熱配分前の数字

※ 数値は端数処理しているので、必ずしも合計値とは一致しない

- 2030年度の水素等供給目標は年間で約19万トン。
- 2050年の水素等供給目標は年間で約581万トン



全国港湾との比較 (2050年)

(単位:万トン)

※ R6.7.12時点で計画を公表し、水素等供給目標を明示している港湾



水素・e-methane(e-メタン)等の供給目標



※ 後背地へのエネルギー供給(都市ガス(e-メタン))についても、水素換算したポテンシャル量を計上(姫路港)